

		函館桔梗保育園 園目標 「自立心を育む」 ちからいっぱい遊べる子ども 食べ物を大切においしく食べられる子ども												函館市立中の沢小学校 教育目標 「すすんで学ぶ子 思いやる子 たくましい子」 令和7年度の重点目標「他を思いやり支え合う子供の育成」 やってみよう！ ありがとう！ 何とかなる！ ありのままで！																																																												
		アプローチカリキュラム(5歳児)												スタートカリキュラム(1年生)																																																												
幼児期の終わりまでに育ってほしい「10の姿」		(1) 健康な心と体 健康				(2) 自立心 自立				(3) 協同性 協同				(4) 道徳性・規範意識の芽生え 道徳				(5) 社会生活との関わり 社会				(6) 思考力の芽生え 思考																																																				
		(7) 自然との関わり・生命尊重 自然				(8) 数量・図形、文字等への関心・感覚 数量				(9) 言葉による伝え合い 言葉				(10) 豊かな感性と表現 表現																																																												
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																	
育ってほしい姿		・年長児としての意欲と自信をもち、様々な活動に取り組む ・考えたり試したりしながら友だちと遊ぶことを楽しむ				・気持ちよく生活するために必要なことが何か気付く ・好奇心をもって身近な事象に自分から関わる				・生活に必要なことに対して自ら取り組む ・目標に向かって実現する方法を考えて取り組む				・様々な経験や対人関係の広がりを通して自立心を高め、就学への意欲と自信をもつ				・園での経験と自信を大切に小学校でやってみたいことを見付け意欲をもつ。 ・上級生の姿をみて、自身の「なりたい姿」に向けて期待をもつ。				・自分の考えをもち友達の意見を最後まで聞いている。 ・「なぜ」「どうして」「やってみたい」という気持ちをもち、課題に積極的に関わっている。 ・自分の居場所を感じ、元気に過ごす。友達と関わる。自分の仕事に進んで取り組む。				・思いや願いを持って学び、考えを伝え合おうとする。 ・他を思いやり助け合おうとする。 ・心身を鍛え粘り強く取り組もうとする。																																																
育成を目指す資質・能力	知識及び技能の基礎	健康に関心をもち、生活リズムを整えたり身の回りの整理整頓をする 健康 自立 相手の立場に立って考えて行動する 道徳 社会 絵本をとおして言葉の美しさや楽しさに気付き言葉を豊かにする 言葉 積極的に体を動かし、様々な活動に取り組む 健康												園生活に見通しをもち、時間を意識しながら気持ちを切り替えて行動する 道徳 社会 自己肯定感が高まり、自信をもって行動する 道徳 社会												学校内の基本的な場所や教職員の役割等、集団生活に必要な基礎知識を習得する ひらがなの読み書きや10までの数の概念等各教科の最も基礎的な事柄を理解する 整列や座り方、聞く等、集団行動の基本技能と学習に必要な基礎動作を身に付ける												季節の自然や生き物について触れ、遊びや体験を通じて基本的な知識を得る 植物の育て方や図書館の利用方法等、生活を豊かにする実用的な知識を習得する 歌やリズムに合わせて体を動かす等、音楽・体育の基本的な表現技能を身に付ける												生き物の特徴や乗り物の種類と役割等、身の回りの事象に関する知識を深める 学習発表会に向けた台詞や役割、合唱等の集団での表現技能を習得する おもちゃやリース等、物づくりの手順を理解し、具体的な方法を説明できる												1年間で習得した知識や技能を整理し、次の学年で活用できる状態にする 手紙や招待状の構成等、情報を伝えるための文章の基本を習得する 「できるようになったこと」を自覚し、生活や学習の習慣化を確実にする												知識及び技能
	思考力・判断力・表現力等の基礎	集団でのゲームを楽しくするために作戦やルールを話し合い工夫する 思考 協同 廃材などを用いて形や大きさ、長さをとらえ、組合せを考えながら作ることを楽しむ 数量 目的に向かって実現するための方法を考え、工夫して遊ぶ 思考 協同 言葉												自分の思いや考えを相手に分かるように言葉を考えて伝えようとする遊ぶ 思考 言葉												学校探検で見つけた物事を整理し、分かりやすく言葉で相手に伝える表現力を養う 初めての人や状況に対し、適切な挨拶や言葉を選び、自分の意思を伝える判断力 遊びやルールの中で、複数の事柄の違いを見つけたり、順序立てて考えたりする初歩												砂や土の性質を感じ取り、遊びや造形の中で試行錯誤しながら工夫する思考力 物語の登場人物の気持ちや行動の理由を深く想像し、共感する力を育む 自分の「好きなこと」を順序立てて説明し、友だちからの質問に的確に答える力												複数の自動車と比較検討し、それぞれの違いと特徴を整理してまとめる思考力 自身の成長を振り返り、新1年生に伝えたいことを選び出し、まとめる思考力 贈る相手(新1年生、6年生)の気持ちを想像し、喜ばれる贈り物を企画・制作する 1年間の学習を肯定的に捉え、「いいこといっぱい」を具体的な言葉で表現する												思考力・判断力・表現力等												
	学びに向かう力、人間性等	トラブルや困難を通して、思い通りにいかない葛藤を味わったり気持ちを整理することを繰り返しながら、相手の思いに気付きながら仲間とのつながりを深めようとする 協同 社会 地域の小学校や施設の訪問や見学等を通して場所や状況に応じた約束を知り、守ろうとする 社会 道徳 自立 運動会でがんばったことを自覚し、自分に自信をもつ 自立 身近な自然に触れ、不思議に感じたことを試したり調べたりして関心を高める 自然 思考 表現												園生活やクラスの中で自分の役割を果たそうとし、役に立つ喜びを味わう 社会 道徳 自立												新しい学校生活に興味関心を持ち、積極的に関わろうとする意欲や主体性を育む 友だちや教師の話を注意深く聞く態度と、公共の場でのルールを守ろうとする意識をもつ 他者の様子を気にかけ、困っている人に声をかける等互いに配慮し合う姿勢を育む												友だちと協力して目標を達成する(運動会等)協調性と共同意識を育む 自分から挨拶や自己紹介を行う、積極的に他者と関わろうとする主体的な態度 植物の育成を通して、生命の大切さや、自然や生き物への愛着を持つ豊かな感性												自分の役割を責任持って果たし、仲間と共に目標に向かって粘り強く取り組む 学習発表会を通して仲間と支え合い、共感し、達成感を分かち合う連帯感を育む 道徳を通して命の尊さを理解し、家族や集団の一員としての役割意識を持つ 新1年生を優しく助け支える活動を通して、年長者(先輩)としての自覚と自立心を育む 他者のために進んで尽くそうとする気持ちを大切にし、人に優しくする喜びを知る 自己肯定感を基盤とし、2年生への期待と意欲を高め、自律的に生活しようとする												学びに向かう力、人間性等												
園児の気持ち		【興味・関心】小学校って何するの？どんなところ？ 【あこがれ・不安・安心】やってみたい！もっとやりたい！ 自分も運動会や発表会に出てみたい。保育園でもやってたから大丈夫かな。 【期待】小学校って楽しそう。友だちできるかな。どんなことするのかな																								【自立】お兄さんお姉さんみたいになりたい。できるかな？ 【成長】学校では何をするのかな。早くやってみたいな 【安心】小学校ってどんなところかな。楽しいといいな												【自立】いろいろできるようになったよ。はやく2年生になりたい 【成長】「なぜ」「どうして」「やってみたい」次にチャレンジしたい 【安心】友だちも先生もいる。いろんなことにかんばるぞ												児童の気持ち																								
主な保育・教育活動(一例)		さあはじまるよ(年長の基盤づくり) 「きょうから年長さん」 ・進級の喜び、年長としての自覚 「気持ちを新たに！」 ・引き続き友だちや先生と過ごす喜び 「思い切り遊びたい」 ・安定した遊びの継続、所属感				やってみよう(挑戦し経験をひろげる) 「みんなであそぼう」 ・友だち思いを出し合ったり協力する 「ふしぎだな」 ・水や砂・草花・木の実の色水遊び 「がんばる運動会」 ・みんなで運動会をがんばろう 「でかけよう」 ・小学校の運動会を見学し期待をもつ				自分たちは園のリーダー(活動を通じて自信をもつ) 「わくわくどきどきあきまつり」 ・目的の共有、自分の役割を意識 「こうしてみない？」 ・共通の目的をもって考え、工夫し、力を発揮する 「みんなすごいねⅠ」 ・互いに認め合う 「そうが…がまんしよう」 ・自己コントロール、我慢、折り合いをつける				もうすぐ小学生(成長の振り返り・次への準備) 「力を合わせて」 ・協同的な遊び、仲間意識、役割分担 「みんなすごいねⅡ」 ・年長児として1年間の成長 「ありがとうききょうはいくえん」 ・お世話になった人への感謝 ・感謝の気持ちを言葉で伝える ・小学校への期待をもつ				がっこうだいすき(学校生活の基盤づくり) 生活「がっこうだいすき いちねんせい」 「いくぞ！ がっこうたんけんたい」 国語「なんていおうかな」「こんなものみつけたよ」 算数「なかまづくりとかず」 道徳「たのしいがっこう」「なにをしていくのかな」 学活「しゅつがこうのいちにち」 体育「からだほくし」「ならべるかな」				ともだちだいすき(他者との関わりと体験的活動) 生活「こうえんであそぼう」「なつのおそびをしよう」「わたしのはなをそでよう」 図工「すなやつちとなかよし」 国語「どうぞよろしく」「としょかんへいこう」 「すきなこと、なかに」「おきなかば」 音楽「うたって うこいて みんなでおんがく」 体育「おにごっこ」「うんどうかいをせいこうさせよう」				だいすきをひろげよう(学びの広がりや表現の深化) 生活「生きもの大すき」「あさのおもちづくり」「あさがりーすをつくらう」 国語「うみのかくれんぼ」「じどう車くらべ」「しらせないな みせたいな」 図工「はたらく車をかこう」 道徳「わたしがおねえさんよ(いのち)」 音楽・体育・学活・国語「がくしゅうはっぴようかい」				もうすぐ2年生(生活と学習の振り返り・次への準備) 生活「じぶんでチャレンジだいさくせん」 「新しい1年生をしょうたいしよう」 「新1年生に学校のことをつたえよう」 「できるようになったことをあつめよう」 国語「てがみでしらせよう」 「いいこといっぱい 1年生」 図工「1年生と6年生へおくりものをつくらう」				主な保育・教育活動																																								
環境構成の工夫・配慮事項		・年長としての自覚をもつために、異年齢の関わりをもち、お世話する喜びを感じさせていく。 ・協同的な活動を通じて社会性を育むため、グループでの制作や話し合いが展開しやすい空間を設定する。 ・就学に向けた生活習慣の定着を図るため、机・椅子を用いた活動や整理整頓の習慣化を促す環境を整備する。 ・自分なりの目当てをもって取り組み、持っている力を十分に発揮して遊ぶことができるように、場の確保をする。												・児童と一緒に活動を楽しみ、肯定的な声かけや必要に応じた個別の支援により信頼関係を築く。 ・児童の実態を把握し、適切な支援を行うようにする。状況に応じた支援員や職員のサポート体制。 ・6年生との連携→朝のお世話、縦割り班掃除など ・順番・環境整備・時間など、言葉や絵、タイマーやソーシャルスキルカード等を用いた視覚支援。 ・4月中は午前授業にするなどカリキュラムマネジメントを積極的に行い、環境への適応を促す。 ・学校行事を軸にして、スモールステップを意識しながら達成感を持たせ、自信をつけさせていく。 ・柔軟な学習形態を用い、意欲を引き出し、成長を促す。(場所 個人 ペア グループ 学級 学年 能力別 等)												・高学年による総合学習での保育園訪問 ・参観日・行事等での職員の相互交流 ・低学年の生活科「おもちゃフェスティバル」へ園児を招待しする。 ・入学式や1日入学で流すための学校紹介動画の制作。 ・職員の長期休業中等の保育園訪問・参観																																																
保幼小の連携		・園職員、小学校職員による相互訪問を通じた児童理解の促進。 ・小学校の行事の見学、施設(体育館・図書館等)の見学や使用体験の実施。 ・生活や学習で必要となる技能について共通理解を図る連携会議。 ・年長児と小学校1,2年生の交流会を、遊びや学習発表形式で行う												・保幼小の職員による架け橋期のカリキュラムの共有。 ・園児の保育支援等、継続のための引継ぎ ・小学校高学年の園訪問(総合学習) ・積極的に学校に訪問できる環境を構築する																																																												
家庭・地域との連携		・1年間の見通しを知らせたり、面談を通じて保護者の願いを聞いたりする。 ・アプローチカリキュラム、架け橋期の教育について目標や手立てを保護者に説明し共有する。 ・保護者も含めた情報共有がしやすいように、ホームページや保育への参加により活動の様子が見える化し、家庭との連携を支える。 ・就学に向けて生活リズム・習慣を園と家庭で身に付けられるような生活を促す。																								・入学当初の学校生活の様子や具体的な活動内容を学級だよりで伝える。 ・学校の教育目標やスタートカリキュラムの目的を説明会で共有する。 ・自立に向けた生活習慣(早寝早起きなど)を家庭と学校が協力して支援する。																																																
備考																																																																										